



◆岩井俊二監督 プロフィール

1963年1月24日生まれ、宮城県出身の映画監督、映像作家、脚本家、音楽家。監督作に、『打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？』『Love Letter』『スワロウテイル』『四月物語』『リリイ・シュシュのすべて』『花とアリス』『リップヴァンウィンクルの花嫁』『ラストレター』などがある。

雨が降ってより感動的に

市長 映画には津堂城山古墳の木が出てきますが、監督のイメージに近いものでしたか。
監督 東京でも探したのですが、なかなか見つからなくて。ロケハンの際に、まさに古墳にあったので、「これはもう、導かれているな」と思いました。黒木華さんの撮影の時に雨が降ってきて、「雨くらい降るよね」とそのまま撮影したところ、雨がまたいい雰囲気になって。晴れていたらここまで感動しなかったと思います。
市長 私もよく津堂城山古墳でザリガニ釣りをしていたので、懐かしく原作を読ませていただきました。
監督 当時、僕がいた頃は「エビガニ釣り」

津堂城山古墳のシンボルツリー



岩井俊二監督 × 岡田一樹市長 特別対談

懐かしい思いが募って藤井寺で撮影したいなど

と言っていました。撮影の1年前くらいにプライベートで藤井寺に帰ってきて、「この辺りだったよね」と懐かしい思いが募って、ゆかりのある藤井寺で是非、撮影したいと思っていました。
市長 藤井寺は古墳がたくさんあって、神社仏閣や古い町並みが今でも残っている。それがどんな形で監督のフィルターで描かれるのか楽しみです。
監督 撮りきれないくらいロケハンでは色々な場所を拝見して、「ここも撮りたい、あそこも撮りたい」と思いながら撮影場所を絞ったので、また機会があれば是非関わりたいです。
市長 また違う角度で藤井寺のムービーを取っていただけたら(笑)

監督から市民の皆さんへ

今回、僕が幼稚園・小学校の時に住んでいた藤井寺での撮影が叶いまして、一つ大きな思い出ができたなと思っています。まだまだ撮り足りないのですが、またお世話になる気がしています。

地元の方々が撮影に対してすごくウエルカムで、非常に楽しく一緒に撮影ができて、素晴らしい体験になりました。また、藤井寺に舞い戻ってきて映画を撮っているかもしれないです。そのときは是非声をかけてくださいね。

藤井寺に来たら役の気持ちになれるのではないかと

市長 今回、藤井寺市をロケ地に選んだ理由をお聞きしたいです。
監督 幼稚園の途中に藤井寺に引越してきました。新しい幼稚園が定員オーバーで入れず、毎日が日曜日みたいな楽しい時間を過ごさせて、僕にとっては夢のような日々でした。道明寺東小学校に通って、1年生の時に、また仙台に戻ったのですが。映画の中で子どもが学校に行かず、さまよっているような場面があった。「藤井寺に来たら、役の気持ちになれるのではないかと」、その時の心境を一番撮りやすいのではないかとと思い、ロケ地に決めました。

監督の思い出の地 藤井寺



対談の様子を動画で公開中！是非ご覧ください。



映画『キリエのうた』公開中

出演者：アイナ・ジ・エンド 松村北斗 黒木華／広瀬すず
原作・脚本・監督：岩井俊二『キリエのうた』(文春文庫刊)
音楽：小林武史
主題歌：『キリエ・憐れみの讃歌』Kyrie(avex trax)
製作プロダクション：ロックウェルアイズ
配給：東映
公式ホームページ：https://kyrie-movie.com/



素敵な音楽を
見どころです！
(監督より)